

## 平成23年第2回定例会にて



今回の震災により、千葉市では5,486名を61ヶ所の避難所で受け入れしました。それをふまえて、私の政策の1つの災害に強いまちづくりに関連した、地域防災について質問をしました。

### 1.どのような場所が避難所となりどのような体制で運営したのか。

通常では、小・中学校・高等学校、公民館、コミュニティーセンターなどの施設を指定しており、今回の震災では主要駅付近の小中学校を中心に避難所を開設しました。主に当該施設の職員により、運営している。

### 2.避難所となった場所での物資の状況について。

区役所や消防署などの拠点倉庫のほか、中学校区ごとに一か所、小学校などに分散備蓄庫を設置している。毛布や非常食などの配給については、区と避難所が連携をとり、公用車で拠点施設や分散備蓄庫から避難所まで搬送し配給した。備蓄品の内容は、分散備蓄庫にはタオル、毛布、給水袋などの生活用品を各200セット。簡易トイレ、投光機、リヤカー、はしご、チェーンソーなどの応急対策用品を各1式備蓄している。拠点倉庫には、食料や分散備蓄庫と同様の備蓄品のほか、応急復旧に必要な器具、工具、発電機、燃料、応急救助資機材セットなど地域防災計画に定める目標数量に基づき備蓄している。

### 3.各避難所との連絡はどのようにしたか。

電話、防災行政無線及び庁内ネットワークのメールなどで連絡を取り合い、今回の震災では、庁内ネットワークの電子メールが有効に機能した。

### 4.避難所における運営マニュアルについて

#### マニュアル通りに訓練はしているのか。実際に出来ていたのか。

訓練については、九都県市合同防災訓練において、避難所開設・運営訓練を実施している。帰宅困難者の避難に対する対応について、鉄道事業者との協議が進んでいなかったことから、避難所の開設準備が出来る前に避難所に避難者が殺到したため、混乱が生じた。今後は早急に鉄道事業者との協議を進め、帰宅困難者の対応について、避難所運営の手引きを改正する。

### 5.地域防災拠点として各町内の避難場所はどのようになっているのか。

現在は各町内自治会ごとに避難所を指定していない。今後は、地域の特性を考慮し、千葉市地域防災計画に定める避難場所以外の公園や空き地などについて、一時的に身の安全を図る場所として、活用できるよう、市政出前講座や千葉市防災リーダー研修会・養成講座などで啓発する。

### 6.帰宅困難者については、他市町村との調整も必要だと思うがどう考えているか。

帰宅困難者への対応は一自治体だけで解決できる課題ではない。九都県市首脳会議などで検討を進め、帰宅困難者を一時的に勤務場所や駅施設などに留め置きや災害時帰宅ステーション拡充などの取り組みを推進する。

### 7.今回のような大規模災害における、他地域からの避難者引き受けについて今後検討しなければいけないと思うが、どのような考えを持っているか。

今回の広域にわたる大規模な災害では、県外からの避難者受け入れについても、地域防災計画の見直しの中で対応を検討していく。

### 災害時の広報について

#### 1.東日本大震災におけるホームページによる広報について

地震発生後、ライフラインなどの被災状況や帰宅困難者への避難場所情報、保育所などの児童の情報など、緊急に市民に伝えるべき情報を速報として随時掲載し、3日間で13回更新した。現在では、トップページを主要事項とし、災害への対応や支援策、避難者への各種情報提供、放射線情報などに整理して掲載している。

#### 2.ホームページ以外の広報について

震災時における情報伝達の新たな手段として、迅速かつ手軽に情報を伝達・発信できる、千葉市広報ツイッターを立ち上げ、計画停電などの情報発信を始めた。美浜区が甚大な被害を受けたことから、災害臨時号美浜区版を発行し、各種支援制度や震災に関するQ&Aの情報を提供した。

### 一般質問において次のことを要望しました。

- ★災害対策本部を地に足の着いたところ、人の足で走っても息切れせず上り下りが可能な範囲の場所に設置していただきたい。
- ★帰宅困難者の多く出る駅周辺には、災害時にも使用できる防災対応公衆トイレの設置、特に今後整備する予定の千葉駅においては、計画の中に入れていただきたい。
- ★避難場所となるには、何らかの物資を備蓄していただきたい。
- ★公園などの一時避難場所に、かまどに転用できるベンチ、現在、市内では黒砂おおぞら公園・稲毛町5丁目こここ公園・宮の谷公園の3カ所に設置してありますが、要望によって設置していただくと市民も安心すると思いますので、ぜひ自主計画の中に入れていただきたい。
- ★市全域に相当な被害が出るような万一の事態においても、市民が求める情報を迅速かつ正確に提供できるよう日頃から備えて頂きたい。インターネット以外で情報を入手する事が困難な方に対する情報伝達についてもさらに工夫していただきたい。

皆様の市政へのご意見・ご提案がございましたら  
は下記までお願いします。

E-mail [info@chiba-uekusa.com](mailto:info@chiba-uekusa.com)

Tel. 043-238-1830 Fax. 043-238-1831

## 多大なご支援・ご協力に感謝いたします!

この度の千葉市議会議員選挙におきまして、大勢のボランティアスタッフの皆様方、並びに支援者の皆様方のお陰で無事に選挙戦を終えることができ、心より感謝申し上げます。公職選挙法の規定により、選挙区内の皆様方、支援者の皆様方への当選御礼のご挨拶にお伺いする事とお礼状を出す事が出来ません。本来であればいち早く皆様のもとにお伺いしなければならないのですが、事情をご理解・ご賢察のほど、よろしくお願い申し上げます。

# ～絆～ がんばろう千葉！がんばろう日本！



－復興ボランティアに参加して 今、私に出来ること－

## 千葉県旭市飯岡町 復興支援ボランティア



3月20日 県内被災地の旭市飯岡町に行ってきました。被災地域は、海岸線より数100mの地域に限られておりましたが、津波の威力はすさまじく、橋は橋梁ごと流され、100m程沖に設置してあったテトラポットは海岸線に押し流されており、海岸側の建物は押し流されているものも多数ありました。

前日までに重機による堆積した砂の撤去作業は行われておりましたが、建物の外周、工場内部及び植栽の内部での撤去作業は人手に頼るところが多く、習志野の市民グループやその他の団体との共同作業により活動を行いました。

この被災地では2m以上の浸水が有り、鉄骨造の工場は海側の破損が激しく、強固な住宅はその全体が10cm以上海側に流されている状態でした。又作業状態から推測して敷地全体に30cm以上の砂の堆積があり、漂着物も多くこの日に作業を行った植栽の中だけでトラック5台分以上の家具やゴミが運び出されました。住宅並びに工場は浸水により使用可能な状態になく、被災された方々の心痛は計りしれません。

現地の方々のために、少しでも役に立てるようにと出来るだけの事を精一杯してきました。

## 宮城県南三陸町 復興支援ボランティア

4/30～5/1 目の前には、テレビで見ていた風景が一面に広がっていました。想像はしていましたが、これほどひどいとは…。テレビで見るのとは違い、肌で感じる事が出来ました。住み慣れた町の姿が変わってしまいましたが、地元の方々は前に進もうとしています。少しでも笑顔が戻る為に何度でも伺いたいと思っていました。



↑ 支援者の方からお預かりした自転車も届けてきました。



宮城県南三陸町にある清水寺(せんすいじ)の復旧作業



## 【ボランティアに参加して】

短い期間での経験を生かすためには、千葉に住んでよかった、これからも千葉に住み続けたいと思えるまちづくり、そして災害に強いまちづくり・地域づくりを目指し、皆様方のために精一杯頑張ることが、被災地の多くの皆様方が私に教えてくれたことだと思います。

あらためて、東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、り災された多くの方々のご健勝をお祈りいたします。

## お知らせ

下記のとおり、市政報告会を開催いたします。ご多用中とは存じますが、多くの皆様方にご参加頂けますよう、心よりお願い申し上げます。

### 植草たけし 第1回市政報告会

日時 平成23年7月28日(木) 18:30～(18:00受付開始)

場所 ホテルポートプラザちば (中央区千葉港8-5) 電話 247-7211

※会費制です。

なお、出欠・詳細につきましては、電話(238-1830)FAX(238-1831)

メール(info@chiba-uekusa.com)などで必ずお問い合わせ下さい。

## 事務所移転のご案内

6月中旬より新千葉三丁目に移転いたしました。お近くにお越しの際は、ぜひお気軽にお立ち寄り下さい。

## 植草たけし事務所

千葉市中央区新千葉3-6-11  
サンアーバンダントヒル202

